

体験活動参加型＋子育てサロン型（小学校）

学 校 名	大垣市立赤坂小学校
実施日時	平成29年7月8日（土）
会 場	赤坂小学校体育館
参加人数	児童 53名 保護者 41名
学習課題（分野）	親子木工教室「木のプランター作り」
運営者の願い	まず、親子で一緒にできることに取り組みたいと思った。木工工作をする機会は家庭ではほとんどないので、家庭教育学級で体験してもらおうと考えた。また、できた作品が長く大切に使用してもらえるのがよいと考え、企画した。

学 習 の 内 容

講師 岡本 好行 氏 他7名（全建総連岐阜建設労働組合本部）

<岡本さんの講話>

- ・全建総連は大工、左官、板金など、建設の仕事に従事する者の組合。岐阜県内では、7000人の組合員がいる。
- ・4K（危険・汚い・きつい・苦しい）の現場で、後継者不足傾向にあり、こういった機会を通して、建設の仕事への理解や木工工作の楽しさを味わってほしい。
- ・技能に応じた作品を紹介。「今度は椅子を作ってみよう」など、あこがれをもつことから始めよう。



<木のプランターづくり>

木工が初めてでも安心して取り組めるよう、道具の扱い方、作成上の注意、安全上の注意などを丁寧に説明してくださいました。その後、8つのグループに分かれ、グループごとにひとりの全建総連の方がついて個々に指導してくださったので、どの親子もどんどん作業を進めていくことができました。

初めて釘を打つ子や低学年の子には、ドリルで途中まで穴を開けて、釘が打ち易いようにされたり、曲がってしまった釘を素早く取ったりと、組合員の皆さんの細かな配慮がありました。また、途中まではお父さんが釘を打ち、仕上げは子どもという関係プレーもあり、作業進度に差が出ずに完成しました。

<参加者の感想>

- ・育てている植物を木のプランターに入れようと思って参加しました。釘をまっすぐ打つのは難しかったです。（小5男子）
- ・木工のようなことに興味をもっているとは思わなかったので、子どもが自分からやりたいと言ったのには驚きました。とても集中して釘を打っていたので、子どもの新しい一面を発見できました。（小3保護者）

早くできた親子は、丸太切りに挑戦



<よいこと見つけ>

- ・木工は初めての経験。釘が曲がって物怖じせず、どんどん自分だけでやっていました。積極的でよかったです。
- ・実家で巣箱作りをしたことがあり、興味はあると思いました。本格的に作ったことはなかったので、挑戦させたいと思い、申し込みました。真剣に釘を打っている姿や途中で投げ出さず、粘り強く取り組む姿に感心しました。
- ・釘が曲がらないように、かなづちを慎重に使っていました。あまりに慎重すぎて、途中、手を出したくなりましたが、何とかひとりでやり切っていました。



木工教室と言うことで、祖父や父親にも活躍してもらおうと考え、参加しやすい土曜日に実施した。また、会場を体育館にし、定員を設けず、できるだけたくさん参加していただけるようにした。



親子体験活動で親子のふれあいを深めるとともに、子どものよさを見つけられる時間とした。

会のはじめによさ見つけをお願いし、活動後、グループごとに、保護者がわが子をほめる時間をもった。

一組ずつ、順にほめていくと、周りから自然に拍手が起こり、温かい交流ができた。